



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「朝は来る」

四月二十二日付の『羅府新報』に「70連敗・東大OB激励」というタイトルと共に、失意の写真が目に飛び込んできた。その副題が「朝は来る」だった。「神宮球場で二十日、慶大に敗れ、「70連敗」のワースト記録に並んだ東大。昨年からの投手陣を指導する元巨人の桑田真澄氏(46)は「終わったことは引きずる必要はない。結果を変えなければ行動を変えろ。何かを変えていかなくてはならない」と奮起を促した。打撃担当の元中日の谷沢建一氏(66)は「全体的な力不足は否めないが、東大は東大らしく胸をはって戦う必要がある。いずれチャンスは来る」と諦めない姿勢を求めた。東大の先輩投手からは温かい言葉が続いた。前回の70連敗時に現役で、ソフトバンクの球団統括本部副本部長を務める小林至氏(46)は「再来週(早大戦)は勝つでしょう。当時よりも今の子たちは大変ですよ。他の5大学には甲子園出身者が、より集まっているので」と後輩を気遣った。現役時代に8勝(27敗)を挙げた右腕で、NHK「ニュースウオッチ9」でキャスターを務める大越健介氏(52)は「朝の来ない夜はありません。70連敗という残念な結果となりましたが、個性あるチームを作り上げ、強豪たちに一歩も引かない、胸踊るゲームを見せてほしいと思います。応援していただきます」と後輩を励ました。野球の連敗記録を取り上げてみると、平成二十一年に京大の60連敗、プロ野球では平成十年のロッテが作った18連敗、大リーグでは六十一年にフィリーズが23連敗している」

安藤仲市という日本同盟キリスト教団委員長が愛する者を失い、失意の中にあつた時、「夕暮れの頃に明るくならん。わが世の日陰はかすかなれど、御顔の輝き、さやに仰ぐ」という聖歌730番を詠んでいる。これはゼカリヤ書十四・7に「夕暮れになつても、光がある」からの引用である。なぜ朝の光と言わないのかというと、聖書の一日は夕方から始まるからだ。創世記にも、「夕となり、また朝となつた」(二章)とあるではないか。聖書は、晩年という夕暮れでも、やがてが朝という光が必ずややって来るといふ希望を詠っている。どんなに連敗していても、その世界から抜け出せるといふ希望があるからこそ、続けるのではあるまいか。同じ聖歌の4節に「主はわが光ぞ、また救いぞ」とある。必ず来る朝も、そこに実体のない朝でなければ何の意味もない。だが、その朝は主ご自身の御顔の輝きだとすれば、それこそ希望の光ではないか。主という本物の光である主と見(まみ)えることこそが、私たち人類の希望の朝なのだから。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

